# 第１２回　宮城舞台技術者協会会議　議事録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日時 | 2021 年　1 月　13 日　18 時　00 分 ～　20 時　20 分 | 場所 | 10-BOX　BOX-1 |
| 議題 | ・「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について<br>・次年度の役員について<br>・総会の日程について<br>・その他 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 出席者 | 伊藤幸夫（東北共立） | 菊地孝（NASS） | 相沢俊一（バックステージ） | 清水目貴義（パラダイスプロ） | 渋谷昌弘（ピーエムシー） |
| | 今野芳明（ファクトリー・K） | 吉田興二（フォーバックス） | 斎藤豊寿・斎藤環江（ライティングケン） | 山品晃彦（THE MODERN WORLD） | 中鉢典男（differ） |
| | 棟居尚（ムネスエ音響） | 太田淳也 | 小宮芳紀 | 関紀子 | |
| | 法人代表者、個人事業主、事務局　15名 | | | | |

**決定事項**

■「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について **→開催延期 出展料は後日返金予定**

■令和3、4年度の役員について **→一旦、会員全員に意思確認の上、会員の中から選出。総会時に選出役員の同意を求める。**

■総会の日程について

○次回の開催日候補日は、2月17日水曜日　時間、場所は改めて連絡いたします。**→2月18日　14時～　イズミティ21 会議室にて**

**会議内容**

■「宮城県ディスプレイ協会」主催の展示会参加について

○定例会開催直前に、感染症対策フェア2021事務局様より連絡がありました。

『新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、また、来場を予定しておりました　医療関係、福祉関係の来場者が見込めない状況となり、協会役員会にて協議し、開催を延期させていただくこととなりました。出展料を入金して頂いております出展社様へは全額返金いたしますのでお願い致します。』とのことです。

■令和3、4年度の役員について

○定款18条に『代表理事は、理事の互選によって定める。』とある通り、代表理事を選出したい。前回の定例会にて推薦があったとおり、法人の代表者全員が理事ということになった。しかし、なかなか全員が集まる機会を作れずにいる。各定例会においてもオンライン参加の声がけもさせていただいているが、いつも1～２社程度の参加になっている。このままだと、代表理事が決まらないので、差し支えなければ、本日出席の理事の皆さん８名で、話をしていただき、推薦の方を上げていただけないだろうか。

推薦者が決まったら、本日欠席の理事さんに文書にて意見を求め、最終決定するのはどうでしょうか。

現状として、１名ですが、お引き受けしていただける方から連絡をいただいております。（意見提案）

→（出席理事会員さんからお一人ずつ意見を聞いてみる）

●理事の中から、代表理事を決めるよりも、会員の中から代表理事を決めた方がいいんではないか。

●毎回参加できる会員さんが少なくなってきており、参加会員さんの顔ぶれが同じになってきている。参加できていない会員さんにも是非参加していただき、色々な声を聞きたい。

●全員が参加できる機会がないのであれば、執行部というのを作って、執行部と事務局が集まり、色々行事などを取り決めしていったらいいのではないか。

●なかなか会に参加できていない方が多くいる。皆さん仕事を抱えていらっしゃることは十分に理解しているが、そもそも協会に籍を置く意味があるのかないのか、会員に確認した方がいいと考える。

| | |
|---|---|
| 会議内容 | ●執行部を置くことに賛成。個人会員さんは、お一人の方が多いので、忙しくなれば参加できなくても当然。会を運営していくためには、実行部隊を作らないと、うまく回らないのではないか。<br>●大きい協会は、専属の事務局の方を設置し、書類作成等運営していけるが、現状、当協会では難しい。そうであれば、尚更のこと、運営舞台を作った方がいい。<br>●事務局の負担軽減のためにも、執行部の必要性を感じる。<br>●せっかく立ち上げた協会であるし、若い技術者にも是非参加していただける組織にしていきたい。<br>●最初はコロナの中で興味本位的に集まってみたが、実際は必要ないと感じる会員さんもいらっしゃるかもしれない。意思確認は必要と思う。<br>●県内の業者さんたちが考える場所は必要であると思う。<br>●集まってはみたが、先走られて、盛り上がっているところに追いつけていない人もいるだろうし、いい機会だと思う人もいる。それぞれ、仕事の片手間に協会に参加している。面白みがなければ、参加する意義がないと考える。<br>まとめとして<br>◎会員さん全員に会員継続の意思確認をする。<br>◎執行部（先日選出された、監事、事務局を含む運営部隊）を作り、会の活動を活発化できるよう運営体制を作っていく。<br><br>○現状として、9月以降は、協会として発信できることがほとんどなく、技術者同士の意見交換や提案の場となっています。協会として事業を色々と計画し、実行していくことで、会に携わってくださるのではないかと考えます。前回の定例会でも意見が出ていたが、勉強会や若手育成のための研修会、資格取得の情報提供等していきたいと、引き続き事業を考えていきたい。<br>せっかくなので、個人事業主さんからも意見をいただく<br>●声をかけられ加入したが、思うように参加できないという、仲間の声もある。生活していくためには、仕事優先が必須となる。意思の確認をしていただくことで、個人事業主は、少し楽になるかもしれない。<br>●事務局の皆さんが、一生懸命活動をされていることは、十分に理解している。負担のならない活動ができたらいいんじゃないか。コロナが終息し、忙しくなってきたら、１ヶ月に１回の定例会から、２ヶ月に１回の定例会に徐々にシフトしてもいいと思う。<br>●今回の組織改選は必要だったのだろうか。今回決める役員は、永年になるのか。<br>→永年ではなく、2年の任期になります。まだ会が発足して半年ですが、半年経ったからこそ、会員の状況もふまえ、改選という形を考えました。<br>●代表理事に今野さんに再選をお願いしたいが、どうして立候補されないのですか。<br>→令和２年度は、発起人ということで、代表をさせていただきましたが、人前に出てお話等することは、非常に苦手でして、代わりにお願いできる方がいらっしゃるのであれば、是非ともお願いしたいと考えています。<br>●時間があるので、毎回出席させていただいているが、会に参加することで、今まで考えることのなかったことや色々と教えていただけることがとても沢山あり、これからも是非、参加していきたいと思う。<br>●どんな方が役員をやっていただいても反対はしない。ただ会として、芝居だけ、コンサートだけ、イベントだけという風に偏りを持った会ではなく、全部の意見が吸い上げられ、考えていけるような団体であって欲しい。業種も含め、音響、照明、舞台の偏りもなく、運営委員含め考えていただきたい。<br><br>○会を立ち上げるにあたり、簡単なルール、いわゆる定款を作らせていただきました。自分達で作ったものですので、皆さんの意見を元に、活動しやすいように、変えていくことは可能です。特殊な仕事のため、毎年同じ仕事が繰り返されることもあれば、そうでないこともたくさんあります。その中で、全員が同じ時に参加できる事業はないと考えていますが、可能な限り、協会活動にご参加いただき、コロナが落ち着いた頃には、会を立ち上げた当初の目的にあるように、研修会や資格取得のための講習会等、たくさん活動していきたいと考えています。 |

会議内容

最終まとめとして、

◎会員さん全員に会員継続の意思確認をする。

◎会員の意思確認後、代表理事をお引き受けいただける方に代表をお願いし、総会にて、各役員の承認を得る。

※意思確認書を回収後ホームページ上に、新年度の組織図を掲載します。

■インタビューについて

○先日、仙台市文化事業団から、『多様なメディア支援事業に関連して、支援事業の中で、特徴的な事業を進められた方を対象に、コロナ禍の文化事業がどのような状況だったかについて、インタビューの依頼がありました。

1月下旬から２月上旬にお話を伺いたいとのことでした。内容としましては、コロナ禍から現在までの舞台事業の経過と現状

（・舞台技術者のみなさまへの影響　　・バックステージツアーの内容や反響など）

インタビューする方：奥口文結さん　　カメラマン：濱田直樹さん

公開方法：当財団ウェブサイトに、文章と写真の記事として掲載予定です。公開する前に、事前に内容を確認いただく予定です。

助成事業に関連してのインタビューになりますので、謝礼等はありません。

**→インタビューを受けることで、決定。（協会の名前を出すことはいいことなので。）今野さんに対応していただくことで決定。**

■総会の日程について

○何度も集まることが大変だと思われますので、総会と定例会をセットで開催したい。

→ 2月17日　水曜日　昼間開催　場所は未定。

**→ 2月18日　木曜日　14時～　イズミティ２１　会議室に決定しました。**

○総会後の定例会にて、今後の活動について、話しをする。

■その他

○新年度の事業として、新入学生を対象とした講習会等実施してほしい。開催時期として、4月～5月にできないか。

（皆さんの意見を求める）

●専門学校は、4月20日頃から授業が開始される。また、連休明けになると生徒の皆さんの状態として、熱が冷める人、継続できる人二手に分かれるように感じる。5月の連休中に何かできればいいのでは。

●コンサート、イベント系の方は、毎年5月の連休には大きいイベントが開催されるので、難しいのでは…。

●連休明けだと、青葉まつりもある。4月の入学後すぐの方が良いのでは。

●ただ、一方的に説明をするのではなく、「何らかの公演の仕込み～本番」を見せ、実際の現場の楽しさ等を伝えたらいいのでは。

●現状、２年生がこの業界への就職先が決まっていない状況を１年生は見ている。１年生も大変不安に感じている。

○震災復興関連のイベントが今年の３月で終わってしまう。その時期の仕事をされていた方には、来年以降、影響が出るであろう。

●（株）日本レクリエーションサービスセンター様について

●本業界でもまだまだコロナ禍の影響を受け、大変な思いをされている会社さんもあると思う。是非、相談できる方に相談していただき、抱え込むことのないようにお願いしたい。また、是非話を聞いてあげれる方は、話を聞いてあげていただきたい。

○コロナ感染者発生施設について

●まだまだ感染拡大中です。本業界の方が関係する施設においても利用者や来場者の方から感染者が出ているようです。

濃厚接触者としてPCR検査を受けるまで、仙台市は3日以上かかっていることがわかりました。またそれまでの間は自宅待機になりますので、現場にも影響が出ると思われます。継続して、感染拡大防止に積極的に取り組み、乗り越えましょう。